

認定

令和3年度 一般会計決算額

歳入 242億0,981万円

歳出 236億4,245万円

QRコード



決算認定の意義は、「行政効果の客観的判断と今後の改善や反省の把握と活用」にあります。各分科会で審査を行い、令和3年度の一般会計決算を認定しました。

一般会計

■電子計算費〔1億4,128万円〕

本庁舎、支所、学校等機関を結ぶインターネット回線の確保や、職員一人一台パソコンの計画的な更新による整備。

問 キントーン(業務改善ツール)やRPA(事務作業自動化ツール)の導入で時間短縮ができたのか。

答 さらにデジタル化を推進していくために、職員の研修はどのように考えているのか。

問 1,600時間の短縮ができた。DX推進計画の庁内会議を持っており、ワーキングチームで係長級を中心として、来年度導入できるものがないか検討している。上がってきた案を検証して選定し、研修を進めていきたい。

■中高連携事業〔116万円〕

市内高校への進学を強化するため、中学・高校が連携し、学校の魅力づくりを実施するための取り組み支援。

問 市内3つの高校に各30万円を交付したが、どのような使われ方をしたのか。

答 入学者増に向けた取り組みに使われている。鳳鳴高校では、高校の活動を紹介する動画やパンフレットの作成、学校日よりなどを中学生に配布す

るための印刷経費に使用した。

産業高校では、オープンハイスクー

ルや学校説明会での配布資料の作成や案内・掲示の充実。新聞記事などをまとめた取り組みのPR冊子等の作成。

東雲高校では、高校紹介動画や高校独自のポスターを作成して配布した。

■安定ヨウ素剤配布事業〔51万円〕

福井県の原子力発電所で事故が起こった場合に備えて、甲状腺の被ばくを防ぐ効果がある安定ヨウ素剤を無償事前配付。

問 丹波篠山市決算審査意見書にて、「原子力災害対策検討委員会等において十分に検討を重ね、廃止に向けて検討」というところまで意見を出されているが、どのように考えるか。

答 監査委員の意見はしっかりと重く受け止めなければならないと思っ

ている。早速、原子力災害対策検討委員会を開催し、監査委員からの意見を報告し、今後の在り方を検討していきたい。

ただ、福井県の原子力発電所が稼働している状況で、この事業が始まった時と状況は変わっていない。

委員には原子力防災の専門家や医師会の先生方もいらっしゃるもので、もう一度、意見を頂戴したい。

今年度は、コロナ禍で2年間配布出来ていないので件数が多いが、来年度以降も続けられるのであれば、少なくなっていく。できるだけ経費節減という意識を常に持ちたい。

■生産調整対策事業〔1,271万円〕

農業者の経営安定や、食料自給率の向上を図るための交付金。

問 作付けに対する事業だけでなく、枝豆や米等がもう少し高値で流通する施策が必要ではないか。

答 生産調整対策事業は作付・収穫に対するものであり、流通については日本農業遺産の認定などを活用し、知恵を絞って取り組む。

■放置空き家対策事業〔2,289万円〕

管理不全な空き家等の発生抑制と、適切な管理を推進し、安全安心な生活環境の維持。

問 放置空き家の除却にかかった費用を相続者や権利者から回収するのは困難と考えるが、見解は。

答 納付命令、督促を発したが、指定期限までに納付されなかった。国税滞納処分により、財産の調査に着手している。

差し押さえ出来る不動産、給与債権や預貯金も見つからない。引き続き、債権回収に向けて財産調査に努める。

令和3年度 特別会計決算額

歳入 107億5,286万円

歳出 105億7,446万円

認定

QRコード



各分科会で質疑・討論を行い、令和3年度の特別会計決算を認定しました。

特別会計

国民健康保険特別会計

問 令和2年度と比較すると、歳入、歳出とも増額になっているが、新型コロナウイルスによる診療控えが戻ってきたのか。

答 コロナによる受診控えの影響はそれほどなかった。以前から年間2〜3%ずつ医療費が上がってきており、例年通りの医療費の増になっている。

後期高齢者医療特別会計

問 保険料の収納方法について、口座振替や直接窓口支払いなどの状況を教えていただきたい。

答 約8割が年金天引きによる特別徴収で、約2割が納付書や口座振替による普通徴収。2割の内訳は納付書6%、口座振替14%。

介護保険特別会計

問 介護給付費の総額は前年度に比べて少ない。計画値と比較しても2億2900万円が減となっている。要因は何か。

答 介護医療院の利用者について、計画では丹波篠山市の被保険者が46床の全てを利用されるという前提で試算した。実際には40人程度であったため減額となっている。

全体的に給付費が下がっていること

令和3年度 公営企業会計決算額

歳入 64億5,386万円

歳出 82億4,675万円

認定

歳入の不足分は、損益勘定留保資金や消費税及び地方消費税資本的収支調整額、減債積立金などから補填しています。

については、要介護3から5の重度の方が減っていること、コロナの影響もあり、短期入所や宿泊型などのサービスが計画値よりも大きく下がっていることが要因と考えている。

る方法を検討したり、いきいき塾、いきいき倶楽部に参加し、介護予防に取り組まれている。また、全ての要支援認定者がサービスを使っているわけではない。必要のないサービスは更新しなくてもよいという説明で、認定者が減っているところもある。

答 ケアプランの点検で、自分ででき

水道事業会計

問 口径30mm以上の水道使用が回復傾向にあるとのことだが、どのような所で使われているのか。

答 主に福祉医療施設、学校や給食センター、小・中の製造工場、食品加工工場が増加傾向となっている。

下水道事業会計

問 昨今の気象変動に対して、防災面に配慮した行政運営がされているが、雨水管理業務の状況はどうか。

答 京口排水ポンプ場の管理は、下水道処理場の維持管理業者に委託し、月2回点検している。

令和3年度は、ポンプの稼働はしていない。

10月27日会議

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急対策補正予算

総額2億6,766万円

5,200世帯に各5万円

この日審議した補正予算は、電力・ガス・食料品等の物価高騰による負担を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税均等割が非課税の低所得者世帯並びにコロナで家計が急変した世帯の5,200世帯に対して1世帯当たり5万円を給付するものです。

給付については、国の方針による物価高騰対策の趣旨を踏まえ、早期に実現する必要があることから、11月に申請書を送付し、12月から給付を開始しました。

財源は全て国費で、緊急性の高い内容でしたので、必要な予算2億6,766万円を即日原案可決しました。

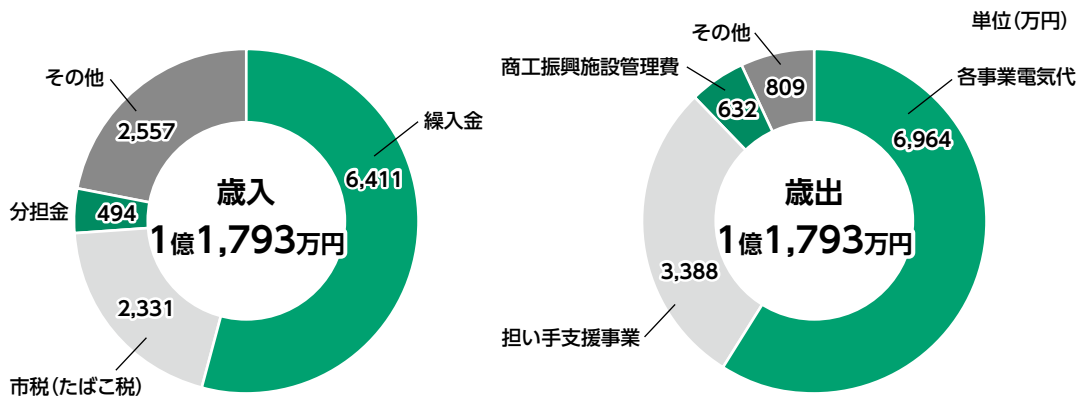
スマートフォンなどで読み取ると本会議の動画をご覧ください

QRコード



11月18日会議

原油価格高騰等対策補正予算
総額1億1,793万円



国からの交付金を財源として、原油価格・原材料費高騰等の影響を受けている商業業者・介護サービス事業所等への支援。水稲などの農作業受託団体への支援。及び給食費の無償化などを行う補正予算を審査しました。

特に、原油価格・原材料費高騰の影響を受け、資金繰りが厳しい市内事業者個人10万円、法人20万円の支援金を給付するために9,000万円の補正を計上、また原油価格高騰の影響を受けている貨物自動車運送事業者に対しても約730万円の支援を行う補正予算について審査しました。

給食費の無償化 [2,424万円]

保育園、認定こども園、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校の給食費1月と2月分を無償化するもの。

問 今後の更なる物価高騰に対する対応は。

答 そのような場合には、追加の補正予算をお願いすることもあり得る。

予防費 [675万円]

新型コロナウイルスワクチン接種を実施する医療機関を支援するもの。

支援金の内容は。

答 今回の支援金は、5回目として行うオミクロン株に対応したワクチン接種への支援を行う。

特産物振興事業費 [464万円]

燃料費及び飼料費の高騰の影響を受けている特産物の生産作業を受託する組織等を支援するもの。

問 燃料高騰対策として作業受託組織を対象とした理由は。

答 作業受託組織は生産物を直接販売しておらず、収益として高騰分を転嫁しづらい。また、今回の対象組織は、これまでの農業資材クーポンや経営安定対策給付金の対象外となっていた。

【審査意見】

今回の補正予算は原案可決しましたが、審査において次の意見が出されました。

市の責任で説明を

予算計上にあたっては、具体的な現状と算定の根拠となる数値、期待される効果等について、事業実施主体等に委ねるのではなく、市の責任においてしっかり説明できるよう求める。

スマートフォンなどで読み取ると本会議の動画をご覧ください

QRコード



12月22日会議

コロナ対策補正予算等

総額1億7,743万円

燃料油価格高騰に係る市各施設の電気代等の増額や、立杭陶の郷空調更新工事、放課後児童対策事業において会計検査院からの指摘があったことによる国庫支出金、県支出金の返還などを行うための予算を審査し、原案を可決しました。

一般会計

■秘書費 [12万円]

河合雅雄先生の追悼事業について、検討会を立ち上げるもの。

問 具体的に検討会ではどんなことを検討していく予定なのか。

答 検討会では、どのような場所で、河合先生を顕彰していくかということが大きな課題になると思う。幾つかの候補場所を挙げながら、既存の公共施設の一部改修のような形で、より市民

スマートフォンなどで読み取ると本会議の動画をご覧いただけます

QRコード



の皆さんが広く河合先生のことを学べる場所を設定していくために、検討したきたいと思っている。

■学校教育充実事業 [181万円]

篠山養護学校の看護師委託料を増額するもの。

問 現在は、週に2回の通学をしている医療的ケア児が、3学期は3回の通学とのことだが、現在の医療的ケア児の教育の状況や看護師の対応、今後の予定はどのように考えているのか。

答 現在、医療的ケアを受けている児童については週2回の登校となっている。3学期に向けて今、協議中であり、本人の体調等を踏まえて、週3回通学も見据えた上で増額をお願いしている。医療的ケア児がいるときには正規職員の看護師が訪問看護ステーションの看護師のどちらかが、必ず付く体制で現在も教育活動を行っている。

■戸籍住民基本台帳費 [644万円]

マイナンバーカード申請事務等にかかる正規職員の間外勤務手当を増額するもの。

問 マイナンバーカードの普及の現状について課題は。

答 11月20日現在で、申請は27,601人で68.46%、交付は23,042人で57.15%という状況で、全国平

均を上回っている。現在の課題としては、施設に入所されている方や、ご高齢で申請が出来ない方がおられるので、1月以降に施設への訪問や、ご家族の方へお願いすることを検討している。



令和4年度からは、各支所の窓口で、マイナンバーカード申請ができます。顔写真も無料で撮影しますので、お気軽にご利用ください！

■塵芥処理費 [2,961万円]

各自治会が実施するクリーニングリオン作戦で回収したごみなどの処理や道路で死んでいる動物の処理を行うもの。

問 今回の電気代増額は3,000万円近くになっている。来年度の年間の電気代としては単純にこの4期分と考えると1億円を超すと思うが、どのように考えているか。

答 電気代については燃料調整費が高騰しており、現在右肩上がりの状況である。令和5年度は1億円を優に超えるという概算見込みを持っている。燃料調整費の推移を見ながら適宜対応していきたいと考えている。

■市単独治山事業 [100万円]

本郷地区で、本年7月に大雨が降った際、溪流の流れが変わったことで人家に被害をもたらす危険性があることから、水路工事を行う自治会に対して補助するもの。

問 溪流工整備事業補助金について詳しい説明を頂きたい

答 本郷地区において、7月3日の豪雨により、家屋裏の山腹から異常な出水があり、その水が家屋に侵入してきた。過去にも同様の状況があったことから、自治会や家屋の住人、地元業者で施工方法等協議の結果、家屋の方を向いている流路を迂回させる工事を地元が施工する。その工事費用の一部を市が助成するもの。

■丹波篠山の家推進事業【235万円】
 本事業に基づき着工した住宅について、今年度中の完成に伴う補助申請5件分の補助金として予算を計上するもの。

問 丹波篠山の家に関する補助金は必須項目と任意項目の認定により決定されるが、任意項目に対する取り組み状況は。
 答 任意項目については、①屋根を和瓦葺きにする、②丹波篠山産木材を梁や柱等のいずれかに目視できる状態で使用する、③性能に関して長期優良住宅の認定を受ける、④市内工務店で施工する、という4項目がある。

現在12件の認定中、任意項目を含んで活用されているものは11件あり、全て丹波篠山産木材を使用されている。

■観光客誘致促進事業【170万円】
 昨年度、鳳鳴高校の地域探求授業で「コスプレで外国人観光客を誘客」の提案を受けた。事業化することで、閑散期となる冬季の集客を図るもの。

問 今回の「コスプレ丹波篠山の魅力発信事業」を提案した高校生がイベントの中で関わる場面はあるのか。企画するだけでなく参画することにより達成感を得ることは、大変大事なことだと考えるか。
 答 提案した生徒は既に卒業している

が、高校を通じて当日の仮装スタッフや運営スタッフとして募集する。また、SNS等による情報発信も協力していただけると考えている。

問 観光効果上がる事業を期待しているが、具体的な仕様について説明願いたい。

答 1日限定の事業だが、事前の周知やSNSへの情報発信等により、丹波篠山の魅力を発信できるものと考えている。午前、午後をまたいで事業を行うことで、コスプレのまま食事や街歩きを楽しんで頂けるように考えている。



特別会計

国民健康保険特別会計

問 国民健康保険の最近の傾向について説明いただきたい。

答 国民健康保険は平成30年度から市と県が一体となり国保の制度を担う県広域化をしており、毎年秋までの療養給付費の実績に基づいて、11月に次年度の額を確定する仕組みとなっている。

しかし、昨年度は11月以降に療養給付費が非常に増えたため、令和3年度の実績よりも今年度の当初予算が少なくなっている。また、令和4年度の実績についても昨年よりも増えている。内容としては、70歳以上の方の入院が比較的多く、それが影響して、療養給付費と高額療養費が増えていると分析している。

介護保険特別会計

■地域包括支援センター事業費

【294万円】

人員の配置換え等による人件費。

水道事業会計

問 水道を新しく引き込む際の給水協力金について、アパート等の基準額の算出方法は。

答 水源開発費として1日当たり5立方メートルを超える最大計画使用量のある新規需要者の方に関し、その5立方メートルを超える部分1立方メートルにつき28万円を負担していただく。

下水道事業会計

問 受益者負担金の区分について、合併後一律にすることなく運用している理由は、一元化はできないのか。

答 下水道事業は処理区単位で進めてきたため、その中で負担をしていたたぐい仕組みをとっている。事業費は処理区によって異なり、事業費の5%を受益者負担金として負担していただく方法は旧町同じであり、それを引き継いでいる。

今後、処理施設の統廃合等を進めていくことと併せて、一律の負担額になるよう進めていきたい。

12月議会(師走会議)で可決した 条例改正



■丹波篠山市自家用有償旅客運送条例の一部を改正する条例

村雲地区で、自家用有償旅客運送実施となり、条例の一部が改正された。

問 村雲地区で有償旅客運送を実施までの経過と課題は何か。

答 町の中心部までの運行を求める強い要望があったが、村雲地区内を基本として、この1月から運行を開始する。

■丹波篠山市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例

■丹波篠山市職員の高齢者部分休業に関する条例

令和5年度から、地方公務員の定年が段階的に65歳まで引き上げられ、関係する条例の規定が整理された。

問 来年度は、定年退職者が無く、新卒者の採用で職員数は増え続けるのか。

答 毎年一定数は新規採用をしていくので、職員数は増える。できる限り平

準化を図りながら、適正にやっていきたい。

■丹波篠山市放課後児童健全育成事業の実施に関する条例の一部を改正する条例

城南児童クラブの運営を行っていたNPOの城南ライフサポートは、令和5年3月末に解散・撤退となる。代わりに市が運営を行うので、条例の一部が改正された。

問 ライフサポートで仕事をされていた職員は、継続して勤務となるのか。

答 現在の支援員と補助員等を含め7人を、4月から市職員として雇用する。

問 民設民営と公設公営によって働く人にとっては、なにが違ってくるのか。

答 今後は、市で全ての事務作業をするので、保育に集中してもらえる。

■丹波篠山市印鑑の登録及び証明に関する条例

性的少数者などに配慮し、市では令和5年4月1日からパートナーシップ

宣誓をする。性別表記欄を見直し、性別記載欄を原則廃止する。性別表記の削除と、火入許可申請書氏名の「マル印」を削除する条例が改正された。

問 男・女の記載欄のある書類に、記入者が書きたくない場合は。

答 可能な限り性別欄を廃止し、記入者の精神的な負担軽減を図る。

問 パートナーシップ制度の導入後の取組は。

答 性別表記欄を削除する指針を定め、規則や要綱などの改正を行う。印鑑登録証明書は、システム改修で削除する。

問 火入許可申請書の氏名のマル印をなぜ削除するのか。ほかの条例で印があるものは無いのか。

答 印鑑が不要なものは、様式から印の部分の削除。火入許可申請書は、今回の削除に合わせて印を削除した。

■丹波篠山市コミュニティ消防センター条例の一部を改正する条例

篠山口駅西のコミュニティ消防センターは、本年度末に地元大沢自治会の指定管理期間が終了する。地元から要望の施設、設備の修繕工事が完了し、令和5年4月1日付けで施設・土地の無償譲渡を大沢自治会と合意した。

問 今後、安全面に問題は無いのか。

答 地域での防災活動が根付いてお



大沢自治会に譲渡されるコミュニティ消防センター

り、支障が出ることはない。

■丹波篠山市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例及び丹波篠山市長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例

■丹波篠山市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

■丹波篠山市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

丹波篠山市では、地方公務員法24条の規定により、人事院勧告に基づいて条例の一部が改正された。



安井 博幸

1. 公教育のあり方と学校園再編の議論を
2. 自転車の走りやすい環境整備を

QRコード



問1 我が市には中長期的な学校園の再編計画が無い。学校園の統廃合も含めた再編計画策定の議論が始まることを願う。

学校の「集う機能」に存在意義があり、対面での学びが基本である。学校の集う機能にデジタル化をどう活かすのか。

将来的には全市的に認定こども園化を目指す。しかし大きな財政支出を伴うので、施設の老朽化など特段の個別事情が生じたところから検討する。

対面での学びを基本としつつ、オンラインで集会や交流をし、効果的な活用を実践している。教職員のICT活用指導能力を高め、授業改善に努める。出生数の大幅な減少が続けば、小規模な学校園の統廃合は避けて通れない。過去の学校統廃合を検証し活用すべきではないか。

本市では、学校統廃合の実績を積み重ねてきた。今後の統廃合の際には、これらの経験も活用していきたい。将来の人口減少を見据え、学校園の再編計画策定を。



JR旧鍛冶屋線跡地の自転車レーン(西脇市~多可町)

少人数教育の利点やICT環境を活かし、当面は現状を維持する。小規模特認校や小中一貫校の調査研究を進める。

問2 「自転車のまち」を推進し、市内の国道や県道を自転車で走りやすい道路とするため、国県と連携し整備を。

市内に自転車レーンは無く、それを設けるには、車道幅員を狭めるか新たに道路を拡張する必要がある。今後、「自転車ネットワーク協議会」などで、道路整備が必要な箇所を協議する。



上田 英樹

1. ユニバーサルツーリズムの推進
2. 大阪・関西万博に向けて

QRコード



問1 ユニバーサルツーリズムとは、高齢や障がい等の有無にかかわらず介助する人、介助される人が一緒に楽しめるよう創られた旅行で、対象者は日本人口の1/3に達している。

選ばれる観光地づくり、安心して訪れることのできる観光地づくりをめざして、ユニバーサルマップの作製や、観光・宿泊施設等のバリア情報の相談を受け発信する「バリアフリー旅行相談窓口」を設置し、取り組むべきではないか。

城下町地区の施設等を確認したが、段差やスロープ等で気になった場所もあり、ハード整備だけで、移動や宿泊等の相談を受け発信するソフト面の充実も必要と考える。

ユニバーサルマップを作製し発信するとともに、観光案内所で全ての相談対応は難しいため、知識を有する福祉事業者等と相談して対応できるように検討し、今後もユニバーサル社会実現のため取り組んでいきたい。

問2 大阪・関西万博会場と連携した「丹波篠山国際博」を開催予定だが、市

内全域で開催し、事業実施団体には支援も必要と考えるがどうか。

市民等から広くアイデアを募集する中で、万博期間の7ヶ月間、市内全域で市民参加の取り組みを進め、次世代につながる市民の新しい取り組みには、支援を考えたい。

万博や国際博への対応として、新たな部署等を設置して進めるのか。

提案のあった「築城400年祭」の取り組みも参考にし、市役所内に担当を置くことも必要と考え、来年度に向けて検討を進めたい。



ドイツから秋の丹波篠山観光に来られたご家族



産業・鳳鳴高校硬式野球部を指導する長澤振興官

問1 現状の課題、今後の支援策について。
 バッティングゲージの老朽化やグラウンドの夜間照明が無いなど、練習環境の改善が課題となっている。
 また移動用のバスや遠方から受験する生徒のための学生寮など整備が必要と想定されており、OB会など関係者と協力、連携しながら市も側面支援を考えている。
 女子ソフトボールへの係わりについては、長澤振興官による直接指導や、人脈など繋がりの中で取り組んでいく。市内のスポーツ振興については、振興官による講演会や、トップアスリートに触れる機会の提供などを検討する。



隅田 雅春

1. 長澤宏行スポーツ振興官就任を受けて
2. 市史編さん事業について
3. 手話言語条例に関する取り組みについて

QRコード



問2 市史編纂事業の進捗状況は。また本格的に事業が動き出した今、市史編纂室を別の場所に独立、充実させてはどうか。
 令和2年に策定した「丹波篠山市史編さん基本方針」に基づき進めている。今後、原始から現代までの様々な時代の歴史資料をできる限り収集し、新たな調査研究に基づいて、丹波篠山市のまちづくりに生かしていく。

問3 手話言語条例が制定されてからの取り組み、学校での手話教育の現状について。
 来年度から、誰もが集えるよう実施要項を見直し、主催団体の募集を進めている。子どもから高齢者まで世代を超えて集えるサロンをめざしていく。
 障がい者が地域で安心して豊かに暮らしていくために、障がい者相談支援センターの機能拡充が必要と考えるが。

ろう者から、条例が制定されたことで地域の理解者が増えたと聞いているが、市民への理解はまだ十分ではない。多くの学校で総合的な学習の時間に手話歌や、手話教室を行っている。



向井 千尋

1. ソーシャルインクルージョン(社会的包摂)のまちづくりを
2. 河合雅雄先生の文化的遺産を次代につなげていくために

QRコード



問1 生活困窮世帯に対して、常設的な食糧支援(フードパントリー)等が必要と考えるが。
 非課税世帯の内、約600世帯が生活困窮世帯だと推察している。病気や障がい働けないなど、課題を抱えた世帯もあるため、市役所内で連携して対応していく。

食料支援は社会福祉協議会が年2回行っており、今後も社協や市民団体と連携して取り組んでいく。
コロナ禍で孤立している人々のつながりを再構築するため、世代を超えた集いの場である「ふれあい・いきいきサロン事業」を推進するべき。

来年度から、誰もが集えるよう実施要項を見直し、主催団体の募集を進めている。子どもから高齢者まで世代を超えて集えるサロンをめざしていく。

障がい者が地域で安心して豊かに暮らしていくために、障がい者相談支援センターの機能拡充が必要と考えるが。

現在、センターの相談員は1人。相談件数は増えており、体制整備について

相談員は1人。相談件数は増えており、体制整備について



社会福祉協議会で渡しているフードパントリーの品物

河合先生の教えをつないでいくためには充実を図っていく。
問2 河合雅雄先生の自然や生き物、文化など、多くの研究や哲学を子どもたちへつないでいくための取り組みが必要と考えるが。
 河合先生の教えをつないでいくため、検討委員会を立ち上げる。その中で、関係機関とも連携して考えていきたい。
 市長が学校訪問で、子どもたちが河合先生を知らないことにショックを受けている。子どもたちに伝えて行くための取り組みをしたい。



大西 基雄

1. コロナ禍での人権学習の推進
2. インターネットモニタリング事業の推進

QRコード



問1 現在の人権学習の状況は。

現在では啓発DVDを用いた学習方法としている。DVDは差別や人権課題を知って頂くための重要な教材であり、視聴後の話し合いや啓発推進員からの助言によって、より学習が深まると考えており、感染対策をして頂いた上で、自治会公民館等において対面での学習をお願いしたい。また、「ユーザー」の視聴」の提案については、今後、研究していく。

部落差別解消推進法について市職員、市民への周知はどう進んでいるか。

同和問題や部落差別解消推進法に関するDVDを人権のまちづくり推進員に紹介している。11月には、「水平社を立ち上げた人々」のDVDとワークシートで自主学習を実施された自治会もある。

市職員に対する周知は、住民学習に2年以上の全職員が住民学習に参加し、各部署に学習リーダーを配置して職場学習会を開催し、同和問題を含め様々な人権問題について庁内で情報共



平成30年に本市が発行したリーフレット

有を図っている。

問2 モニタリングの推進方法は。

同和問題に限らず、在日外国人やコロナ感染者に対する誹謗中傷など、本市の地域名や被害者が特定できる書き込みについて、キーワードで検索し確認のうえサイト運営者に対して削除要請を行っている。悪質な案件は人権擁護機関である法務局にも削除の要請を行っている。

モニタリング体制の強化と早期発見の為、来年度から人権推進課職員に加え、丹波篠山市人権・同和教育研究協議会の職員にも取り組んで頂けるよう調整中である。市民からの報告も受け付けている。



大上 和則

1. 交通安全対策について
2. 観光戦略と人材(じんざい)育成について

QRコード



問1 歩行者や自転車利用者が、夕暮れ時や夜間に交通事故に遭わないようにする為には、夜光反射材用品やLEDライト等の活用が効果的とされている。本市においては、外灯設置が十分でない所も多くあり、夜間においては危険な歩道も存在する。夜間の交通事故防止に効果的とされる反射材タスキの普及促進を図るため、計画的な市民への提供などを検討すべきではないか。

交通安全啓発活動を実施するなかで、啓発チラシや反射効果のある交通安全グッズ等を配布してきたが、今後、反射材タスキの配布を検討していく。

市内には通学路を含め、日常的に横断に危険を生じる歩道も存在する。今後、自治会に点検を呼びかけ、道路脇の横断旗設置や注意喚起を促す取り組み等に対し、購入設置費用の一部を助成する等の検討をすべきでないか。

現在のところ要望はないが、設置や助成については今後、研究していく。

問2 『2025年丹波篠山国際博(仮称)』に向けてのタイムスケジュールや



夜光反射材を着用しましょう

他自治体との広域連携についての考えは。

本年度中に、取り組んでいく方向性や課題を洗い出し、2年間で準備を整えていく考えでいるが、具体的なタイムスケジュールは定められていない。他自治体との連携や、女性、若者などにも参画を促し、「築城400年祭」の取り組み等を参考にしながら進めていく。



栗山 泰三

中学校部活動地域移行について

問 部活動地域移行における、指導者の確保、活動場所、活動資金(部費)などの課題。また、モデル化のソフトボール部とソフトテニス部以外の運動部、文化部の教員負担軽減に向けた人材の確保について、見解を問う。

市内のソフトボール部が一つのクラブとして誕生した場合、ソフトボール人口の減少に繋がるのではないか。併せて10年間開催してきた長澤キャンプの再開を目指してはどうか。

長澤スポーツ振興官の職務として市が開催するスポーツイベント等に連携・協力するところがあるが、具体的にいつ、どこで、何を、予算はいくらか。

指導者の確保は最大の課題。部活動地域移行の意義を説明し、協力者を得ることが大切だと考えている。

また、部活動指導員に地域の指導者になってもらうことや、引き続き部活動をしたい教員の参加も出来る体制を作るなど、学校と地域が協働して生徒を育成する体制作りを進める。

場所は、学校や市内施設を活用する予定だが、利用料が保護者負担増にならない様に検討し、令和5年度予算に計上する。体制整備にかかる国や県からの支援は公表されたばかりの為、関係団体等と相談し、大きな負担なく活動できる様に協議している。

QRコード



岡山県創志学園女子ソフトボール部と交流

長澤ソフトボールキャンプの再開は課題がある。競技力向上と振興を推進する中で、ソフトボールについても関係団体と協議し検討したい。

森本 富夫

1.不登校児童生徒対応について
2.上下水道事業の経営安定について



問1 全国的に小中学校における不登校児童生徒は増加している。本市における現状はどのような状況なのか。学校以外の教育環境が提供されているが、各機能が十分発揮されているのか。

丹波篠山の教育において、不登校問題の位置づけや重要度をどのように考えるのか。

令和3年度の不登校者は、小学生24人、中学生53人であり、前年度より増加している。本市では、福祉や心理学の専門家を配置し、適応指導教室とも連携しながら学校と共に取り組んでいる。不登校は、解決すべき重要な課題と認識し未然防止や迅速な対応等、不登校が生じないような取り組みを充実させる。

問2 上下水道事業は、本市の大切なライフラインである。人口減少により経営状況が厳しくなるなか、水道事業96.6億円、下水道事業200.4億円の企業債残高がある。償還に関する将来的な見通しや、現在の料金の維持、サービスの持続は可能なのか。また一般会計からの繰入金は適切妥当な金額であると考えるか。

QRコード

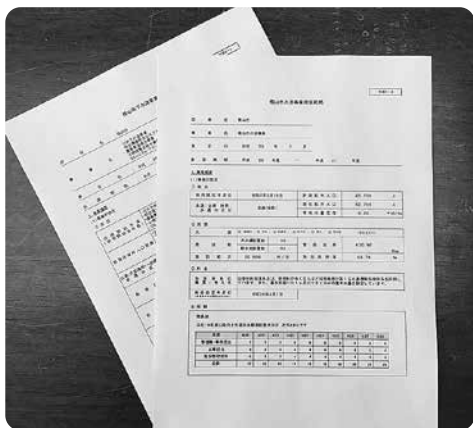


金額であると考えるか。

水道企業債は最大177億円まで増加したが、令和3年度末には97億円まで減少、下水道企業債は最大374億円まで増加したが、200億円まで減少している。上下水道とも引き続き施設の統廃合などを進めながら、投資経費の削減を図り支出の抑制に努め、持続可能な経営を行う。両事業とも、一般会計からの繰入金で経営が成り立っている、将来的には一般会計繰入金も減少していくと考えている。

■その他質問事項

オーガニックビレッジ宣言に向けて



上下水道事業経営戦略(基本計画)

～賛否の分かれた議案等の公開～

議案等	議席番号 議員名	1	3	4	6	7	8	9	10	11	12	14	15	16	17	18
		森本 富夫	栗山 泰三	足立 義則	渡辺 拓道	安井 博幸	向井 千尋	上田 英樹	園田 依子	前田 えり子	原田 豊彦	河南 克典	大西 基雄	隅田 雅春	大上 和則	小畠 政行
認定 第1号	令和3年度丹波篠山市一般会計 歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—
認定 第2号	令和3年度丹波篠山市国民健康 保険特別会計歳入歳出決算認定 について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—
認定 第3号	令和3年度丹波篠山市後期高齢 者医療特別会計歳入歳出決算認 定について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—
認定 第4号	令和3年度丹波篠山市介護保険 特別会計歳入歳出決算認定につ いて	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—

※○は賛成、×は反対。 ※小畠議員は議長のため、採決には加わっていない。

QRコード



【反対討論】

認定第1号～4号 社会保障充実のため、富裕層等への応分の税負担を

・国保税等の保険税（料）や後期高齢者保険料が高くて払えないと市民から悲鳴が上がっている。高齢者も現役世代も安心できる社会保障制度にするため、富裕層や大企業が応分の税負担をすることで国庫負担を増やし、自治体独自の減免制度を充実させるなど、命と暮らしを最優先に市政執行されることを願う。

【賛成討論】

認定第1号～4号 概ね適切な予算執行につき認定に賛成を

・財政健全化の取り組みにより、実質公債費比率と将来負担比率の指標の数値は共に改善された。しかし、公共施設など老朽化した施設、道路、上下水道等のインフラ資産の更新や改修が将来必要と想定されている。また、高齢化に伴う社会保障費の増大や災害などの非常事態に備え、今後も引き続き財政運営の健全化に留意する必要がある。

令和3年度施政方針のキャッチフレーズは、「都市からワクワク農村へ」であり、コロナ感染予防を徹底して、これまでの日常生活を取り戻すよう取り組まれてきた。さらなる改善が望まれる事業もあるが、概ね適切な予算執行がなされたと判断して認定されたことから、予算決算委員長からの報告の通り、令和3年度の決算認定に賛成下さるようお願いし、賛成討論とする。

市施設の指定管理者を決定

各施設の指定管理期間が今年度末に終了することから、新たに指定管理者を決定するもの。

雲部地域コミュニティ活性化施設
合同会社 里山工房くもべ

福住地域コミュニティ活性化施設
NPO法人 SHUKUBA

大芋地域コミュニティ活性化施設
一般社団法人 おくも村

地域活性化センター黒豆の館
株式会社 黒豆の館

ハートピアセンター
有限会社グリーンファームささやま

滞在型市民農園「ハートピア農園」
有限会社グリーンファームささやま

西紀運動公園
株式会社 エヌ・エス・アイ

西紀運動公園の指定管理者の指定における主な質疑

問 利用者の方に何か不平不満があった場合に、それらを解消できる改善策などについて、担当部署として何か行っているのか。

答 指定管理者は、毎月利用者にアンケートをとっており、その結果を報告いただいている。利用者の方々から直接市の方へ要望をいただくこともある。

問 本市が抱える学校水泳授業の課題というの具体的な、何を指しているのか。

答 プールの漏水など施設の修繕費用がかなり必要だと報告を受けている。他市町では民間プール事業者が学校の水泳事業を受託していることもあり、本市でも実現できないか協議を進めている。

受理した要望書を

市長に申し入れ

本市議会議長あてに、6件の要望書が提出されました。

要望書については、適切に対応されるよう市長に申し入れました。

【要望書】

■令和4年度 生徒の教育環境にかかる要望事項について(丹波篠山市立西紀中学校PTA)

■令和4年度 児童の教育環境等に係る要望について(丹波篠山市立西紀小学校PTA)

■令和4年度 児童の教育環境に係る要望事項(丹波篠山市立西紀南小学校育成会)

■令和4年度 児童・園児の教育環境に係る要望事項について(丹波篠山市立西紀北小学校・きた幼稚園育友会)

■令和4年度 園児の教育環境等に係る要望事項について(丹波篠山市立西紀みなみ幼稚園さくら会)

■商工会に対する支援要望について(兵庫県商工会連合会)

広告

自宅葬から会館葬まで...
セレモニーホール
ネムールの木 MORI
ドライアイス・褒台車は24時間365日対応させていただきます。
24時間受付  **0120-39-1005**
ネムールの森篠山葬祭会館 丹波篠山市東吹1258-2

広告

あなたのいっそうの健康をサポート
病院の診断結果の詳しい解説や  無料相談(30分)
医師との適切なコミュニケーション術、
肥満・便秘・ストレス・血圧・血糖値で悩んでいる方、
健康で元気に毎日を過ごしたい方へアドバイスします。

臨床検査技師
加藤 晴之
丹波篠山市池上
277-32
Health&Fine ヘルス アンド ファイン
まずは気軽に
お電話で **080-4297-9291**

関係人口の創出を期待

「子育ていちばん施策の推進」と「定住促進と関係人口の創出」を年間テーマとして調査研究を進めています。

子ども未来部から施策の現状を確認し、一般社団法人 丹波篠山キャピタルの話を伺いました。

保育士の確保と環境整備を

子ども未来部では、課題となつている待機児童対策として、今田地区【でのこども園開設計画や西紀保育園の増築計画を進めています。今後は施設整備と平行して保育士の確保と資質の向上にも取り組んでほしいと申入れしました。

関係人口は「つなぐ」から

（一社）丹波篠山キャピタルは、人口減、担い手不足という本市の課題に対し、「支える」「つなぐ」「見せる」という3つの取り組みを進めています。

特に「つなぐ」という事業では、関係人口として関わりたい人たちの力を發揮できる土台をつくる環境を整えることに、新たに力を注いでいます。今後は、関係機関との連携を深め、丹波篠山ファンクラブや第2住民票制度による具体的な推進をお願いしました。



【行政事務事業評価】

■電子計算費

1人1台パソコンの導入計画が順調に進み、RPA（事務作業自動化ツール）やキントーン（業務改善ツール）の機能を活用して業務の効率化が図られています。

■庁舎管理費

本庁舎東・西階段に手摺を設置、第2庁舎女子トイレのベビシート取替など、計画通り事業が推進されています。

■学校教育総務費

学校や園での健康診断。通学路の安全確保、災害共済による治療費等の給付が計画通り行えています。

以上のことから、3事業とも引き続き事業を推進していくことが望ましいとの結論に至りました。

最終処分場の必要性を確認

安心安全な市民生活のための調査研究を行い、所管する事業について行政事務事業評価を行いました。

【視察研修】

■兵庫県消防学校

自然災害や火災に対する消防・救急へ期待が高まっています。消防人材の育成の考えや育成計画について研修し、本市の消防職員5人が初任教育を受けている様子などを視察しました。

■大阪湾広域臨海環境整備センター

フェニックス事業、埋立処分場、環境保全について研修し、丹波篠山市から出る焼却灰の最終処分場である神戸沖埋立処分場を視察しました。環境に配慮した循環型社会の推進の取り組みも重要ですが、全ての廃棄物を再利用することは不可能です。よって最終処分場が必要であると再認識しました。

【行政事務事業評価】

■防災事務費

ウェブ版防災マップは、即時性を活かし、更新した情報をホームページやLINEなどを活用して、市民の方へ

すぐに伝えられるよう取組んでいただきたい。また、防災備蓄品は家庭で備蓄品を備えるという意識づくりが必要です。

■塵芥処理費

安定的なごみ処理はできていますが、令和8年度末には丹波市からのゴミ受入が終了することを見据え、効率的な運営を更に進める必要があります。プラスチック容器の資源化率は低く、市民への分別に対する啓発が必要です。

■妊娠出産包括支援事業

資源ごみの収集は市民へさらに周知し、自治会などの地域の理解・協力を得て取り組むことが必要です。

My助産師センターではきめ細やかなケアが出来ており、利用者の満足度も高いものになっています。産後ママのサポート事業では、母親と赤ちゃんだけでなく、その兄弟も一緒に利用できる体制の構築が望まれます。この事業を本市に移住を考えている方へ積極的にPRに、関係部署と連携して取り組んでいただきたいと思います。

森づくり事業等は継続実施

①市営住宅管理②森づくり事業(木の駅プロジェクト)③し尿処理費の事業効果とその必要性について、重点的に審査しました。

結果、いずれの事業も改善の必要性はあるものの、継続して実施していくことが望ましいと判断をしました。

〔行政事務事業評価〕

■市営住宅管理

市の管理する市営住宅の入居率は全般的に高く、また積極的な徴収により家賃収納率は高く推移しており適切な事業実施がなされています。

一方、入居希望団地に偏りがあることから、予定されている募集方法の見直しを実施して応募の少ない団地への入居率向上の努力が必要です。

■森づくり事業(木の駅プロジェクト)

平成30年度から原料の木材の搬入量が減少しており、令和3年度の実績は年間計画目標数値を大きく下回っています。その原因は木材出荷者の高齢化や山への関心低下によるものと判断されます。

しかし、美しい里山に寄与する事業

であることから、担当の農都創造部だけの見直しではなく、部課横断的な検討を行い、事業の再構築をすることが必要です。

■し尿処理費

事業の中核施設あさぎり苑の現地踏査を実施して事業評価を行いました。し尿や浄化増汚泥の受け入れは適切で、環境に配慮した事業実施が行われています。

現在、処理料金が家庭系と事業系が同一の設定となっている点は、収入増の観点も含め見直しの検討が必要です。



あさぎり苑を現地踏査

環境のまちづくり 先進都市を目指して

自然環境や生き物、農業、生活環境、景観などを良くするために、地域の魅力を高めていく必要があります。

しっかりと連携していけるよう取り組む。

また、魅力的なまちとして、市民一人ひとりが活躍し、ワクワクと将来にわたって幸せに暮らしていけるように、未来に引き継いでいくことを目指すため、「ワクワク環境みらい都市宣言」を制定しました。

市民が自分事として、意識を持って取り組むことが一番大切である。市の取り組みと市民に対する取り組みは。

市の自然環境、生活環境をしっかり守って次世代へつないでいくには、多くの市民の行動が大切である。今回の宣言を機に、施策を見直し具体策を検討する。

市の自然環境、生活環境をしっかり守って次世代へつないでいくには、多くの市民の行動が大切である。今回の宣言を機に、施策を見直し具体策を検討する。

ワクワク環境みらい都市宣言を制定

市環境審議会から出た意見は。

自ら行動、未来を見据えた行動やワクワクできることは何か、各自で出来るのはどんな事か等の意見が出た。

宣言文案の5項目により、丹波篠山が環境みらい都市としての内容を網羅していると考えてよいのか。

丹波篠山市が今後取り組んでいく環境施策を網羅していると考えている。

今回の宣言は様々な分野を横断的に巻き込む必要がある。どのように市内の部局を超えた取り組みをするのか。

環境分野全体に広がるため、



次回の会議は2・3月に開催します。

【通称：弥生会議】

2月28日(火) 本会議(第1日)
議案提案 他

3月16日(水) 本会議(第2日)
補正予算委員長報告 他

3月27日(月) 本会議(第3日)
当初予算委員長報告 他

(常任委員会・分科会)

○予算決算委員会分科会

補正予算審査

3月 1日(水)民生福祉

3月 2日(木)産業建設

3月 3日(金)総務文教

3月10日(金)全体会

当初予算審査

3月 7日(火)産業建設

3月 8日(水)総務文教

3月 9日(木)民生福祉

3月13日(月)産業建設

3月14日(火)総務文教

3月15日(水)民生福祉

3月23日(木)全体会

◎いずれも午前9時30分開会予定。どうぞ傍聴にお越しください。なお、市のホームページ(YouTube)でも本会議を中継します。また、市役所本庁舎(1階ロビー・4階議場前)に設置のモニターでも本会議の視聴が可能です(リアルタイムのみ)。

※傍聴にあたり、託児を希望の方は開催日の2週間前まで、手話通訳を希望の方は開催日の4週間前までに議会事務局へご相談ください。

※議会だよりに対するご意見やご感想は、下記までお寄せください。

TEL (079) 552-6855

FAX (079) 552-7104

E-mail

gikai_div@city.sasayama.hyogo.jp

丹波篠山市議会だより 第103号
令和5年1月20日発行

編集・発行

丹波篠山市議会広報特別委員会

原田豊彦・前田えり子・渡辺拓道

安井博幸・園田依子・大上和則

〒669-2397 兵庫県丹波篠山市北新町41

TEL (079) 552-6855

丹波篠山市議会 検索



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境にやさしい
植物油インキを使用しています。

全戸配布の広告募集

企業(お店)PRは「市議会だより」で!!

募集締切:令和5年2月28日(火)

市議会だよりでは、紙面を有効活用し、自主財源創出のため、広告掲載を行っています。掲載を希望される事業所様は、議会事務局(552-6855)までお問い合わせください。

なお、掲載基準や申込書などは市議会ホームページに掲載しています。

規格	枠数	広告掲載料
最終ページ フルカラー	最大2枠	1枠:年間40,000円
内ページ 2色	最大4枠	1枠:年間20,000円

サイズはこのページ下の2枠をご参照下さい。

(市議会だよりの概要)

発行部数:17,000部

配布場所:市内全世帯(自治会経由)、本庁舎・支所・市内企業・医療機関・理美容施設等

発行回数:本会議(3月、6月、9月、12月)の翌月発行 計4回

まらなみ

正月は著名人の漢字で抱負を語る「新年の一文」が紙面を賑わしました。本紙編集者の抱負は「親」といたします。「変」や「革」も施しますが、すべては読者に親んでもらえることを第一に考えたいからです。(原田)

ジェンダー平等を求めるうねりは年々高まり、政治と社会を動かしています。ジェンダー平等社会をつくる努力は、戦争を拒否し、平和な社会を築く努力と重なり合います。平和で人権が尊重される社会へと前進させる年に。(前田)

昨年一年を表す漢字は、なんと「戦」でした。まだまだ不安なことは続いています。今年は穏やかに平らけく和やかな世になりますように。ここに生きる私たちも置かれた場所で精一杯の役割を果たしていきたいですね。(渡辺)

好天の1月3日、味間南の文保寺コースで白髪岳へ登りました。霞んでいたものの淡路島や明石海峡大橋の橋柱を見晴らしの良い山頂から視認できました。山々に囲まれた篠山が、山歩きに恵まれた土地と再認識しました。(安井)

卯年・跳躍する姿から「飛躍」「向上」を象徴するものとして親しまれています。コロナ感染広まりから4年目になりますが、去年は多くの観光客にお越しいただきました。コロナに負けない工夫で良い一年にしましょう。(園田)

卯年は何かを開始するのに縁起が良く、希望があふれ、景気回復、好転する良い年になると言われています。本市が更に発展しながら、市民の皆様の幸福度が益々上がっていく良き年となりますようにお祈り致しております。(大上)

広告



国土交通大臣認定工場

西村建設鋼業株式会社

鉄骨工事専門

認定工場が「品質保証」をお約束いたします。

丹波篠山市奥原山327 TEL 079-557-1316

広告



丹波篠山
まつかぜ屋

〒669-2201 丹波篠山市東古佐95

☎ 079 (594) 5454

☎ 090-3722-4755

鶏肉の王様 名古屋コーチン料理専門店
こだわりの名古屋コーチン地鶏をメインに、丹波篠山産の米・野菜・牛肉や猪肉など地元食材を鍋やバーベキューでお楽しみいただけます。

◆くつろぎの空間 古民家隠れ家風

◆定休日:水・木(2日前までの完全ご予約制)

